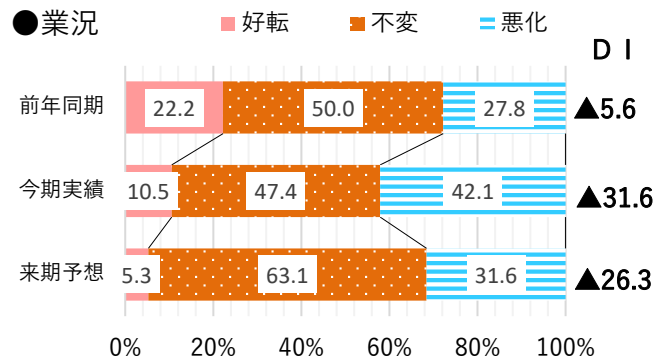


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

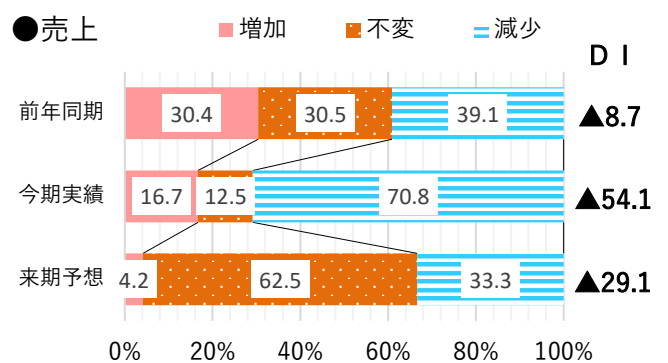
今期（2020.7～9）の業況判断DIは▲31.6で、前年同期（2019.7～9）と比べ26.0ポイント低下しました。

来期（2020.10～12）は、業況の悪化傾向に大きな変化はないと予想しています。



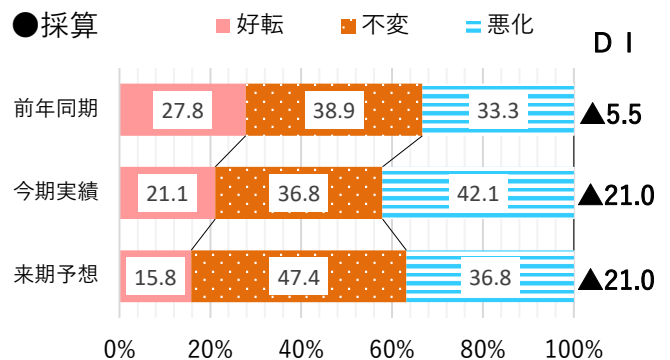
今期の売上高DIは▲54.1で、前年同期と比べ45.4ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期は、売上の悪化傾向が弱まると予想しています。

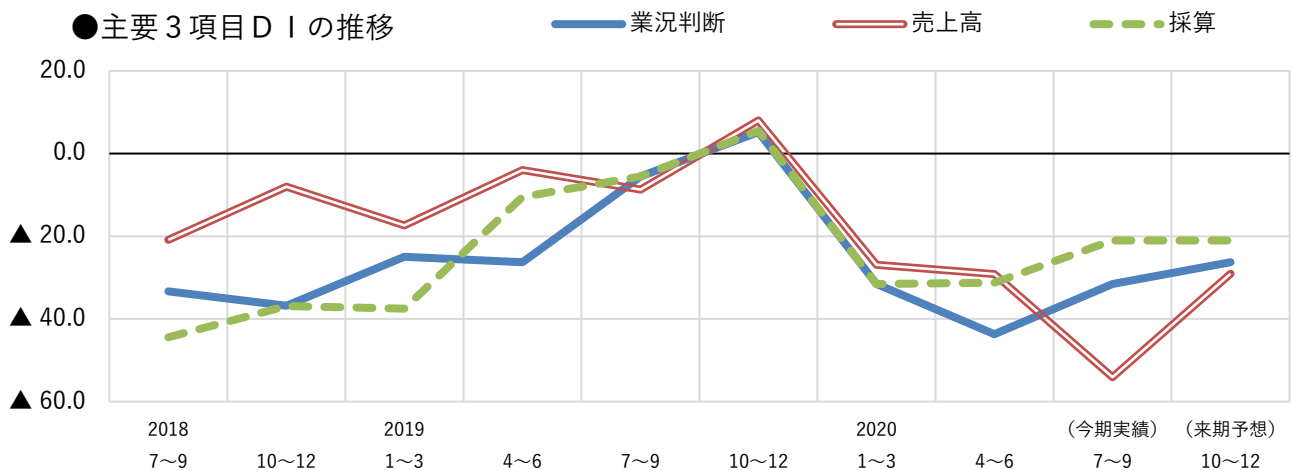


今期の採算DIは▲21.0で、前年同期と比べ15.5ポイント低下しました。

来期は、採算の横ばいを予想しています。



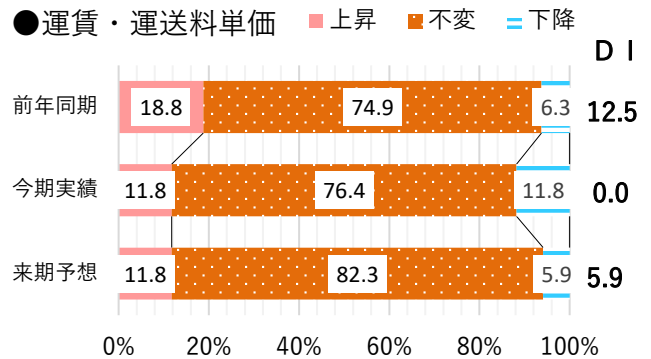
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

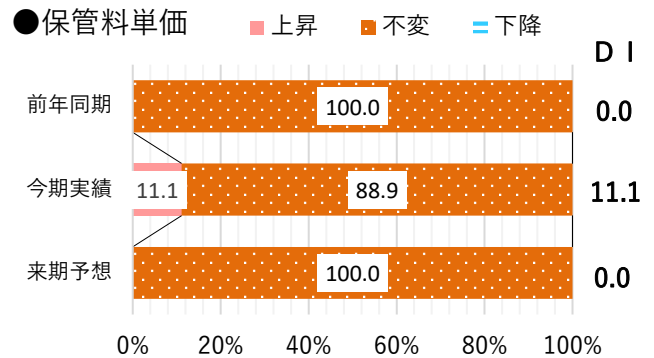
今期の運賃・運送料単価DIは0.0で、前年同期と比べ12.5ポイント低下しました。

来期は、運賃・運送料単価が上昇すると予想しています。



今期の保管料単価DIは11.1で、前年同期と比べ11.1ポイント上昇しました。

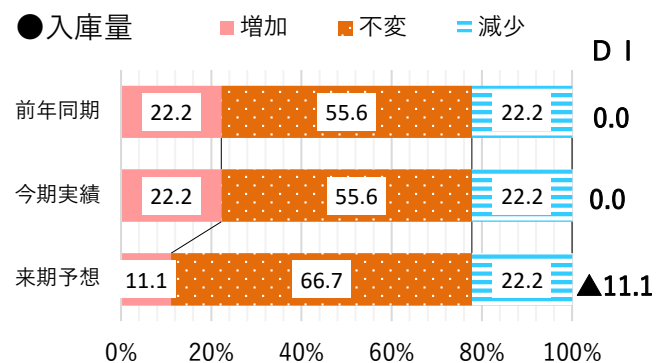
来期は、保管料単価に変化はないと予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

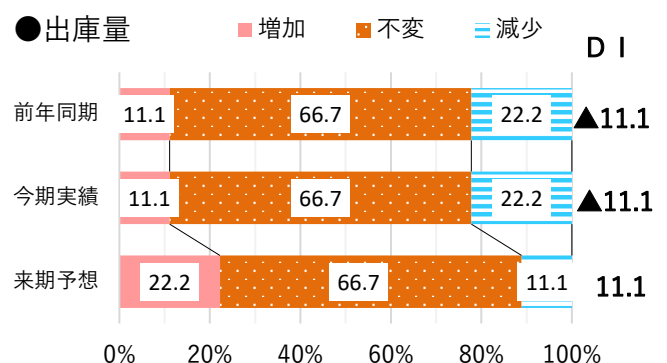
今期の入庫量DIは0.0で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、入庫量が減少すると予想しています。



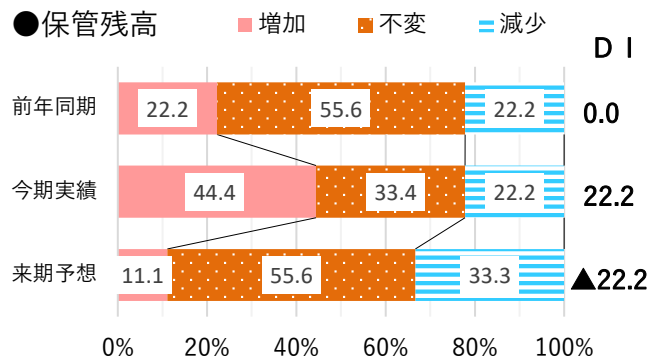
今期の出庫量DIは▲11.1で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、出庫量が増加に転じると予想しています。



今期の保管残高DIは22.2で、前年同期と比べ22.2ポイント上昇しました。

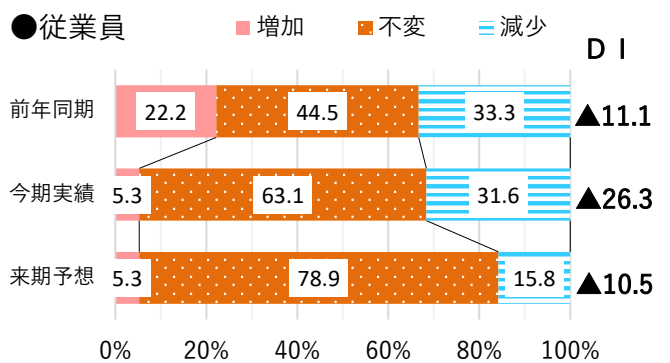
来期は、保管残高が減少すると予想しています。



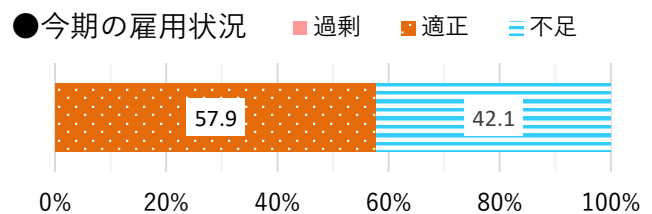
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲26.3で、前年同期と比べ15.2ポイント低下しました。

来期は、従業員の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は57.9%、不足していると回答した企業の割合は42.1%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、運輸・倉庫業全体の57.8%を占めています。

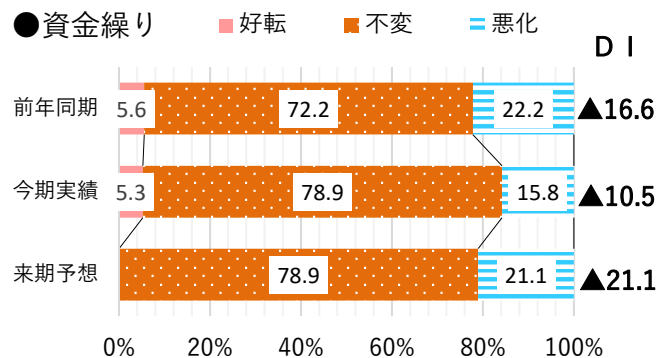
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	11
	不足	1
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	6

資金繰り、設備投資

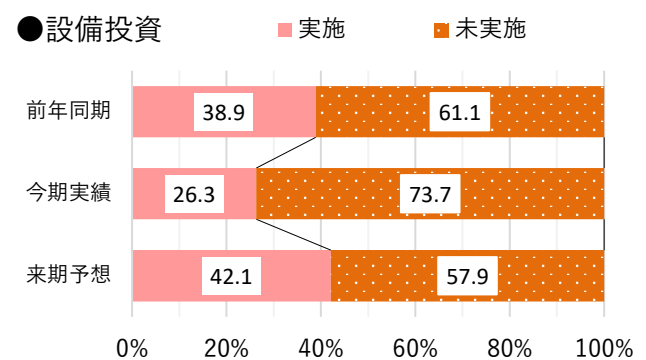
今期の資金繰りDIは▲10.5で、前年同期と比べ6.1ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が強まると予想しています。



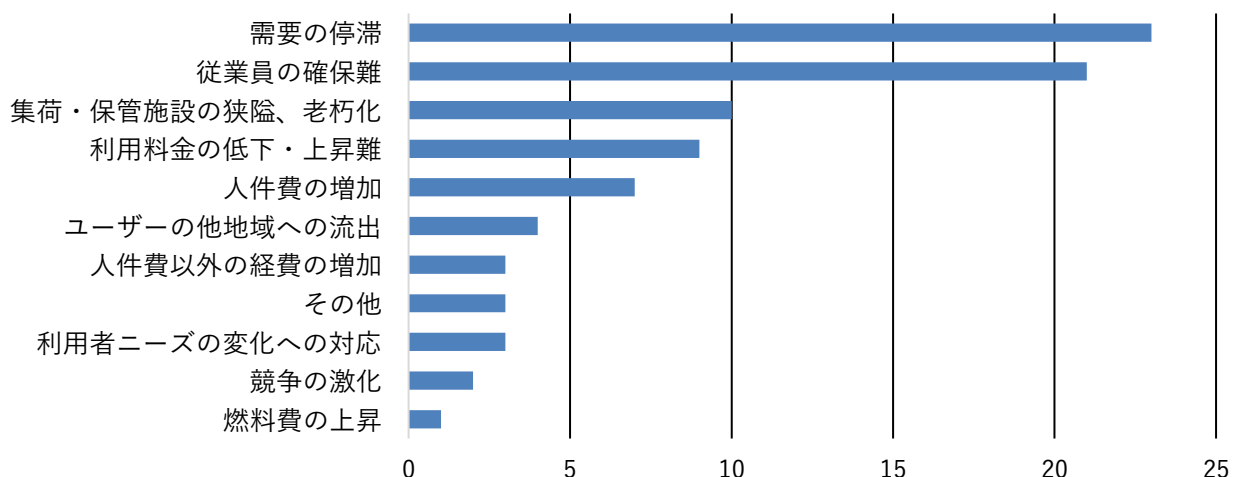
設備投資を実施した企業の割合は26.3%で、前年同期と比べ12.6ポイント低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「OA機器」、「その他」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は42.1%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「従業員の確保難」、3位が「集荷・保管施設の狭隘、老朽化」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 昨年同期の業況も良くはなかったが、最近ようやく新型コロナウイルスの影響から脱しつつあり、昨年並みにまで回復した。コロナ禍がいつまで続くのか、不安である。(道路貨物運送)
- 内麦等貨物の保管が前年より増加し、倉庫部門は増収となった。乗務員の減少により、人材不足である。(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルスの影響で大口の荷物の動きが悪い。燃料費は上昇傾向にある。(道路貨物運送)
- 一部荷主の生産量減少に伴い、運搬量が減少した。(道路貨物運送)
- 運転手不足のため、売上が減少した。(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルス感染拡大により、観光客・市民ともに利用が減少している。(道路旅客運送)
- コロナ禍によってタクシーの需要が伸び悩んでいる。(道路旅客運送)
- コロナ禍による地域経済の縮小を実感している。(道路旅客運送)
- 今期は新型コロナウイルスの影響も多少出ており、出庫量が伸び悩んだため、運送料と売上が減少した。他に大きな変動はない。(倉庫)
- 新型コロナウイルスの影響で入出庫量が減少したため、売上が減少した。(倉庫)
- 入庫量が減少した。(倉庫)
- 新型コロナウイルスの影響により、旅客の大幅な減少が続いている。飲食関係の営業自粛による消費の停滞や物流のあり方の変化を感じている。(水運)

[来期の業況について]

- 稼働と売上がともに増える時期なので、悪化した業況を回復させたい。受注は確保できているので、事故などに気を付けて、経常利益を増やしたい。(道路貨物運送)
- 一部荷主の生産量減少は続く見込みだが、他の荷主からの荷物は確保できるだろう。(道路貨物運送)
- 業況は今期と同様と思われる。(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルスの影響が弱まらない限り、不変もしくは悪化が予想される。(道路旅客運送)
- 新型コロナウイルスの影響はなく、例年と同水準の動きになるだろう。(倉庫)
- さらなる入庫量の減少と、出庫量の増加が予想される。(倉庫)
- 新規事業によって売上が回復すると思われる。(倉庫)
- 新型コロナウイルスの影響が続くだろう。(水運)